

事務事業名		災害復興対策事業(水産関連)			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間	
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興				
	基本事業名	03 漁業経営の安定化			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成 23年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令						
所属	部課名	農林水産部 水産課			予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 01 12 00	
	係名	漁政係/振興係	電話	27-3111		
			内線	371		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により、市内漁業、水産加工業は共に壊滅的な被害を受けたことから、被災した漁業協同組合等が実施する漁船、養殖施設、共同利用施設等の復旧・復興事業に対し、国・県の各種支援事業を活用して補助金を支出し支援するもの。 ・主な復旧・復興事業は次のとおり。【水産業共同利用施設復旧事業】施設の応急修繕、機器等の整備、【共同利用漁船等復旧支援対策事業】漁船、定置網等の復旧整備、【水産経営基盤復旧支援事業】養殖施設、共同利用施設の整備、【養殖用種苗購入支援事業】養殖用種苗の確保、【さけ・ます生産施設復旧支援事業】施設の緊急復旧、【製氷保管施設等早期復旧支援事業】製氷・貯氷施設の復旧、【水産団体機能回復支援事業】事務所機能の復旧、【漁業協同組合等機能回復支援事業】漁協事務所機能の復旧等、【水産価格安定供給支援事業】移入氷対策支援等 ・具体的な事務は、県及び事業実施主体との補助金関係手続き。(事業要望調査、事業計画提出、予算措置、内示、補助金請求、補助金交付決定、前金払、完了確認、実績報告、精算払、事業完了報告ほか)					全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・県への補助金申請手続き(要望調査、事業計画書作成、補助金申請ほか) ・事業実施主体への補助金交付事務(要望調査、補助金交付決定ほか) ・上記に係る完了検査、補助金請求・支払い事務ほか 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・前年度とほぼ同様の内容。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 県への補助金交付申請件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 事業実施主体からの延べ補助金申請件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ 完了確認検査実施件数</td> <td>件</td> </tr> </table>	名称	単位	ア 県への補助金交付申請件数	件	イ 事業実施主体からの延べ補助金申請件数	件	ウ 完了確認検査実施件数	件
名称	単位								
ア 県への補助金交付申請件数	件								
イ 事業実施主体からの延べ補助金申請件数	件								
ウ 完了確認検査実施件数	件								
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・漁業施設・設備及び水産加工施設・設備 ・漁業者及び水産加工業者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 被災施設数(漁船等)</td> <td>隻</td> </tr> <tr> <td>キ 被災施設数(養殖施設)</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>ク 漁港組合員数</td> <td>人</td> </tr> </table>	名称	単位	カ 被災施設数(漁船等)	隻	キ 被災施設数(養殖施設)	台	ク 漁港組合員数	人
名称	単位								
カ 被災施設数(漁船等)	隻								
キ 被災施設数(養殖施設)	台								
ク 漁港組合員数	人								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・水産業に必要な施設、設備等を震災前の状態に復旧する。 ・漁業者及び水産加工業者が安定して水産物を生産できる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 事業進捗率(事業費ベース)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 復旧が完了した施設の割合(養殖施設)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス 復旧が完了した施設の割合(漁船)</td> <td>%</td> </tr> </table>	名称	単位	サ 事業進捗率(事業費ベース)	%	シ 復旧が完了した施設の割合(養殖施設)	%	ス 復旧が完了した施設の割合(漁船)	%
名称	単位								
サ 事業進捗率(事業費ベース)	%								
シ 復旧が完了した施設の割合(養殖施設)	%								
ス 復旧が完了した施設の割合(漁船)	%								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・安定して漁業を営む。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					
			23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円	3,074,399	15,894,788	748,508	0	0	0
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	385,578	3,190,645	213,862	0	0	0
	事業費計(A)	千円	3,459,977	19,085,433	962,370	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	0	0	0
	延べ業務時間	時間	1,200	1,200	600	0	0	0
	人件費計(B)	千円	4,800	4,800	2,400	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,464,777	19,090,233	964,770	0	0	0
⑤活動指標	ア	件	7	7	3			
	イ	件	19	26	13			
	ウ	件	25	21	8			
⑥対象指標	カ	隻	2,730	2,730	2,730			
	キ	台	9,500	9,500	9,500			
	ク	人	3,000	3,000	3,000			
⑦成果指標	サ	%	48	85	100			
	シ	%	43	95	100			
	ス	%	22	80	100			

事務事業ID	1552	事務事業名	災害復興対策事業(水産関連)
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により、市内漁業、水産加工業が共に壊滅的な被害を受けたことに伴い、国県による復旧・復興支援制度が整備されたことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・震災直後は、復旧が急がれるメニューに対し支援制度が整備されたが、関係団体等からの支援要望等に基づき、平成23年度は4次にわたる国補正予算が措置され、メニューの追加や制度改正が頻繁に行われている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・各漁業協同組合及び漁業者からは漁船や養殖施設等の復旧に合わせて早期の漁港施設復旧を要望されている。 ・施設が復旧しても実際に所得が得られるまで期間を要することから、その間の所得確保対策に対する支援が必要となり、県の緊急雇用創出事業を活用し、漁業者の雇用・所得確保を図っている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ ・漁業者及び水産加工業協同組合等が水産基盤を復旧整備することにより、安定して水産物を生産する体制が確保される。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ ・今回の震災による被害はあまりにも甚大であり、行政の支援なくして復旧・復興は困難な状況である。市の基幹産業である水産業の復旧・復興に向けて国・県と連携して市が支援を行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ ・各事業メニューごとの目的(対象や意図)は国や県の制度で定められており適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ・補助金の額を増やすことができれば成果を向上できる余地はある。国や県の予算枠があり現状では難しいが、継続して事業を実施していくことで復旧は進み成果は向上する。 ・また、事業実施主体において早期に事業を完了させることができれば成果は向上するものの、各実施主体でも限られた職員体制の中で事務を行っており、現状では難しい状況にある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ ・国、県による震災からの復旧・復興に向けた期間限定の緊急的な事業であり、廃止・休止という考え方はなじまない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ・国、県による震災からの復旧・復興に向けた期間限定の緊急的な事業であり、統廃合という考え方はなじまない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・各事業メニューとも県の事業計画の承認を得て適切な規模で実施していることから削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・他の震災復旧事業とあわせ必要最低限の人員で実施しており削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ ・国、県の制度要綱等に基づき実施主体の負担割合が定められており、適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23年度は各種支援制度の創設、変更等に適切に対応しながら、可能な限り早期事業実施に向けて対応した。 ・国3次補正予算分など、翌年度に繰り越した事業費も多いことから、今後とも漁業協同組合はじめ各事業実施主体との連絡調整を密にしながら、適切な事業実施、進捗管理に努めていく必要がある。 ・なお、県としては、本事業のうち主なメニューを平成25年度まで継続して実施する予定としている。 									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度以降は国・県の予算枠が減少する見込みであり、事業費自体は減少する見込みだが、継続して事業を実施していくことで成果は向上する。 ・国3次補正予算分など翌年度に繰り越した事業費も多く、加えて毎年度の国への管理運営状況報告や会計検査への対応も必要になることから、今後とも漁業協同組合はじめ各事業実施主体との連絡調整を密にしながら、適切な事業実施、進捗管理に努めていく。 	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	●																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費・事業量とも膨大であり、各事業実施主体でも事務処理が追いつかない状況にあることから、県の担当者とも連携しながら、適時適切な指導に努めていきたい。 																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	
-------	-----	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧は着実に進んでおり、今後とも漁業協同組合はじめ各事業実施主体の要望等を踏まえながら、継続して事業を実施していく。 									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度以降は国・県の予算枠が減少する見込みだが、漁協等からの要望を踏まえながら、継続して事業を実施していく。 ・加えて毎年度の国への管理運営状況報告や会計検査への対応も必要になることから、適切な事業実施、進捗管理に努めていく。 	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	●																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項